



株式会社富士通ゼネラル

ルームエアコン「nocria (ノクリア)」 (2023年発売モデル)

製品・技術の概要

- 地球温暖化係数が低い冷媒R32を採用したルームエアコン。
 - 新開発のインバータ技術や圧縮機など基幹部品の換装により、省エネ性能が向上。
 - エアコンの運転状態や室内の状況によって、節電につながる情報を通知する機能を搭載 (X/Z/ZN/Wシリーズ)。
- 【例】運転停止後に使用した電気代をお知らせし、節電につながる使い方の提案。



「nocria (ノクリア)」Zシリーズ

ライフサイクルCO₂削減効果

- 同シリーズ2013年モデルと比較して、約14%のCO₂を削減

冷媒変更の一方で、部品追加による
原材料重量増により微増

省エネ性能向上により、大幅減

原材料調達

生産

流通・販売

使用・
維持管理廃棄・
リサイクル組立に必要なエネルギー増の一方で、
再エネ100%電力への転換等の取組を推進

製品を通じた社会への波及効果

- 節電につながる使い方の提案・訴求により、家庭での更なる省エネに貢献。

企業からのコメント

nocria
ノクリア

当社のエアコン事業は1960年に始まり、「nocria (ノクリア)」は2003年に初号機を発売しました。当社はヒートポンプ技術を活用したエアコンの普及拡大に取り組み、お客様とともに持続可能な社会実現に貢献することを目指しています。

製品に関するトピックス

環境への取り組み

富士通ゼネラルグループでは、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みとして、2022年4月1日より、事業活動で使用する電力を再生可能エネルギー100%に転換しています。

- (1) 国内外の拠点に太陽光発電システムを導入し、事業活動で使用する電力の一部を再生可能エネルギーへ切り替え。
 - (2) 太陽光発電システムを設置できない、または太陽光の発電量では全体を賄いきれない拠点は、電力会社が提供する再生可能エネルギー100%メニューへ切り替え。
 - (3) 現在契約している電力会社が再生可能エネルギー100%の電力メニューを持たない拠点は、国際認証機関が発行する再エネ電力証書を調達し、実質再生可能エネルギー100%の電力へ切り替え。
- 上記により、温室効果ガス排出量の削減を図っています。

【事例】太陽光発電システムの導入



太陽光で発電した電力は自家消費し、
CO₂と電気代を削減。



世界での取り組み

①ヒートポンプ機器普及の取り組み

富士通ゼネラルグループは“世界の暖房文化を変える”ことを使命として、化石燃料を使用した暖房機に比べ温室効果ガスの排出量削減が期待できるヒートポンプ技術を活用した空調機の普及拡大に取り組んでいます。

②欧州での取り組み

富士通ゼネラルグループでは、再生可能エネルギーとして認定されている「ヒートポンプ」を活用して温水の循環によって暖房を行うシステムである「ATW (Air to Water)」の普及促進を図ることによって温室効果ガス排出量の削減に貢献しています。

ATW (ヒートポンプ式温水暖房システム)

- ・ヒートポンプ技術により運転時のCO₂排出低減
- ・化石燃料機器に比べ、温室効果ガス排出低減



**化石燃料から再生可能エネルギーへの
転換促進**

地域への貢献

富士通ゼネラルグループでは、近隣の小学校4年生に環境教育(企業の節水、ゴミ分別、家電リサイクルや省エネ)を実施しています。

家電リサイクルでは静岡県浜松市のリサイクル工場とオンラインでの質疑応答、省エネでは自社の太陽光パネルや発泡スチロール減容機などの見学を通じ、地球に優しい人材の育成を行っています。



お問い合わせ先

株式会社富士通ゼネラル
〒213-8502 川崎市高津区末長3-3-17
Tel 044-861-7650 (お客様ご相談窓口)

業務内容

空調機、情報通信・電子デバイスの両部門において、
製品・部品の開発、製造、販売、サービスの提供
www.fujitsu-general.com/jp/

